心理学研究法Ⅰ（実験計画法）

科目ナンバリング　PSY-203
選択必修　　2単位

飯島　雄大

1. 授業の概要（ねらい）

心理実験では、様々な条件を操作することにより心理現象を検証する。よってどのように条件を設定するのかが重要になってくる。この講義では、データを適切に取得し、科学的に妥当な検証を行うための実験計画法について講義を行う。実験計画と解析手法は連動している。そのため前半は実験計画法とデータの取りかたについて学び、後半は実験法と統計ソフトウェア（R）を用いたデータの解析方法について学ぶ。

2. 授業の到達目標

・実験計画法について理解する
・適切にデータを収集することができる
・適切にデータを扱い、解析する方法を習得する

3. 成績評価の方法および基準

小レポート（50%）、小テスト（50%）で評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献
対馬栄輝・石田水里　医療系データのとり方・まとめ方―SPSSで学ぶ実験計画法と分散分析　東京図書
山田剛史・杉澤武俊・村井潤一郎　Rによるやさしい統計学　オーム社
橋本 貴充・荘島 宏二郎　実験心理学のための統計学　誠信書房

5. 準備学修の内容

・実験計画と統計解析は密接にかかわっているため、心理統計の基礎を復習して臨むこと
・授業を復習し、自身のリサーチクエッションをどのように検討するか考える
・統計ソフトのプログラミングについて復習し、解析結果を適切に報告できるようにすること

6. その他履修上の注意事項

受講生の理解度や進捗によって、以下の授業内容や順番を変更することがある。
また、受講生の人数によって統計ソフトの演習は行わないことがある。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション
【第2回】　データとその性質
【第3回】　研究全体の計画を立てる
【第4回】　対象を抽出する
【第5回】　サンプルサイズを決める
【第6回】　実験計画法を考える
【第7回】　取得したデータの特徴を把握する
【第8回】　実験デザインと分析①：対応のあるt検定
【第9回】　実験デザインと分析②：対応のないt検定
【第10回】　実験デザインと分析③：1元配置分散分析（実験者間1要因分散分析）
【第11回】　実験デザインと分析④：2元配置分散分析（実験者間2要因分散分析）
【第12回】　実験デザインと分析⑤：反復測定分散分析①（実験者内1要因分散分析）
【第13回】　実験デザインと分析⑥：反復測定分散分析②（実験者内2要因分散分析）
【第14回】　実験デザインと分析⑦：分割プロットデザイン（混合計画2要因分散分析）
【第15回】　まとめ